

歯科衛生だより

発行人/吉田 直美
 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023
<https://www.jdha.or.jp/>

2023 December vol.78

人生100年時代、求められる地域医療連携とは — 歯科衛生士の専門性を探る — 日本歯科衛生学会第18回学術大会

主催：日本歯科衛生学会／公益社団法人 日本歯科衛生士会
 共催：特定非営利活動法人 静岡県歯科衛生士会
 後援：静岡県／一般社団法人 静岡県歯科医師会／一般社団法人 静岡市静岡歯科医師会／一般社団法人 静岡市清水歯科医師会

本学術大会は標記タイトルをテーマに2023年9月16日(土)から18日(月・祝)にかけて、静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」で開催されました。4年ぶりの会場開催で、参加者は1587名、企業展示も31社と多くの方が参集され、笑顔の交流と研鑽の場となりました。



シンポジウム登壇者と座長の日本歯科衛生士会 久保山副会長(右)

会員より口演36題、ポスター83題が発表され、特別講演、教育講演、シンポジウム、日本口腔衛生学会共同企画など多くのプログラムがありました。後日、オンデマンド配信もあり、色々なライフステージの会員が全国から参加可能となりました。詳細や画像については、日本歯科衛生学会ウェブページをご覧ください。

以下は会場開催のみとなりましたが、同じ環境で働く参加者の生の交流の場となり、日頃の悩みなどが共有でき、仲間たちから力をいただく会となりました。



開会式

日本歯科衛生士会全国病院歯科衛生士連絡協議会

厚生労働省医政局歯科保健課長の小椋正之先生から「歯科保健医療に関する最近の動向について」ご講演いただきました。

ワークショップ1 「在宅・施設において求められる地域連携」(日本歯科衛生士会 在宅・施設口腔健康管理委員会)

ワークショップ2 「行政の歯科衛生士の将来ビジョンを語り合おう—都道府県、市区町村に勤務する歯科衛生士が職能を発揮するために—」(日本歯科衛生士会 地域歯科保健委員会)

ワークショップ3 「診療所歯科衛生士の魅力を語ろう!」(日本歯科衛生士会 診療所委員会)

県民フォーラム 百年後の静岡が豊かであるために

ふじのくに地球環境史
ミュージアム 館長

佐藤 洋一郎 先生



一般の方々も参加できる「県民フォーラム」も、4年ぶりの現地開催となりました。毎回、講演は学会開催地と縁のある著名な方をお願いしています。

講師の佐藤洋一郎先生は1952年に和歌山県でお生まれになり、京都大学農学部をご卒業後、数々の教育・研究機関を歴任され、イネの起源や農業と環境の関係史、また和食文化についてフィールドワークを中心とした手法で研究されています。現在は、静岡県静岡市にある「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の館長として、静岡県産の食材消費について新しい視点からの活動を提案されています。

佐藤先生は、講演の中で静岡県は富士山や南アルプスが北にそびえ雨量が多く大きな川が発達して水が豊かであり、火山帯に属し土壌環境も複雑で急峻な山や巨大断層が複雑な地形を生む多様な農業環境・魚の生育環境であること、その環境から生じたナラ林と照葉樹林とが入り混じる多様な生物環境があることを大きな地図を示されて、分かりやすく話されました。なかでも、固有の環境を生み出している山の斜面を利用した焼畑や、そこで収穫される蕎麦の実の味の良さを活かした蕎麦職人による調理法が紹介された時には、会場の皆さんが身を乗り出して興味深く聞き入っていました。

また、静岡県にはこれほど多様な食材があるものの、歴史的な地域に根差した宗教や武家文化の影響から、その食材の良さを活かした静岡食という文化が醸成していないことが紹介されました。地域の食文化も、その地の政治権力者の方針に強く影響されて発達するものだと改めて気づきました。今では、腕の良い料理人の方々の努力によって静岡食という文化が生まれようとしているそうです。今後、そう遠くない日に、県外からのお客様に静岡食をご紹介できそうで楽しみになりました。健康長寿の実現には、地域の豊かな食材をより美味しく食べることが大切だと改めて考える機会を頂きました。

(第18回学術大会大会長 特定非営利活動法人静岡県歯科衛生士会会長 森野 智子)



招聘講演 韓国歯科衛生士の過去と現在、そして未来

大韓歯科衛生士協会 会長 ファン・ユンスク氏



韓国における歯科衛生士の歴史から現在韓国が抱えている高齢社会の問題への取り組みまで、大韓歯科衛生士協会の活動と今後の展望についてご講演いただきました。

まず、協会の歯科衛生士の資質向上への取り組みとして、評価院設立の準備について紹介がありました。韓国では、一部の医療専門職に評価院制度を設け、評価認証を受けた養成機関修了者のみが資格試験の受験資格を得られるようにして、教育の質を担保しています。また、2015年より歯科衛生士免許の届出制度も導入されました。

数年後に突入する超高齢社会に備え、韓国政府は健康寿命の延伸のために口腔健康増進を掲げています。協会では、高齢者専門歯科衛生士の養成のため、人材養成プログラムを開発し、高齢社会対策を推進しています。



本会との交流は、1995年に東京で開催された歯科衛生国際シンポジウムから開始されています。今回のご講演を通じて韓国の歯科衛生士について学んだうえで、互いの国が抱える課題に協同して取り組むため、今後は双方向の交流をより深めていきたいと思えます。

(公益社団法人 日本歯科衛生士会 国際協力委員会 宮澤 絢子)

大韓歯科衛生士協会第45回総合学術大会に出席して

2024年7月11日(木)～13日(土)に、国際歯科衛生士連盟(IFDH)による歯科衛生国際シンポジウム(ISDH)が韓国ソウルで開催されます。ISDHには全世界から多くの歯科衛生士が参加し、情報交換を行います。

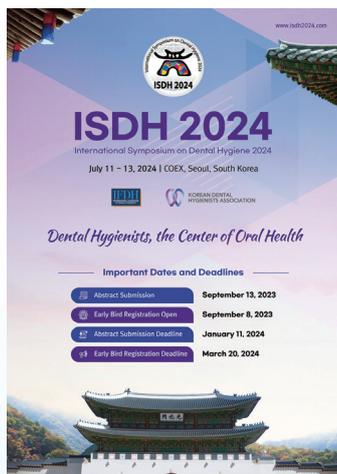
これに先立って2023年7月15日(土)、16日(日)、韓国ソウルにて、ファン・ユンスク会長のもと大韓歯科衛生士協会第45回学術大会が開催されました。この学術大会へ日本歯科衛生士会会長であり、IFDH代議員である吉田直美しやうみが招聘されました。そして副会長でIFDH代議員の河野章江も随行しました。



15日午前には併催された展示会の開幕式においてファン・ユンスク会長をはじめ、吉田会長や多くの来賓により、テープカットが行われました。



続いて学術大会開会式では、大韓歯科衛生士協会10支部の支部旗を掲げての入場を皮切りに、ファン・ユンスク会長の式辞、パク・ジョンラン副会長の開会宣言に続き、吉田会長が祝辞を贈りました。



同日午後からは吉田会長の招聘講演でした。「日本における歯科衛生士の歴史と役割および日本歯科衛生士会の取組み」と題して、「①日本における歯科衛生士をめぐる法律と今日までの役割の変遷、②役割変化に対応した歯科衛生士教育の高度化と現在、③日本歯科衛生士会が担ってきた使命と実施プロジェクトならびに今後の課題」の3つの内容についての講演でした。日本と韓国の歯科衛生士との相違や共通点を理解していただき、今後の両国の情報交換および相互協力に役立つことができればと講演が締めくくられました。学会会場では、多数の講演プログラムがあり、韓国の歯科衛生士の皆さんが熱心に聴講されていました。

今回の学術大会には、IFDH会長のワンダ・フェドーラ氏も招聘されており、親交を深めることができました。ISDHは1975年、1995年に日本において開催していますが、それ以降アジアでは開かれていません。来年、韓国で開催される国際シンポジウムに日本から多くの歯科衛生士が参加し、研究の成果や臨床報告を行う予定です。世界各国と情報共有し、多くの知見を得て、我が国の国民の健康と福祉の増進にさらに寄与していきたいと考えています。

(公益社団法人 日本歯科衛生士会 副会長 河野 章江)

<https://youtu.be/9crVTj4b124>
大韓歯科衛生士協会
第45回総合学術大会 トピックス動画(6分)



2024年歯科衛生国際シンポジウム (ISDH)

開催地 ……………韓国(ソウル)
開催日程 ……………2024年7月11日～13日
演題募集締切 ……………2024年1月11日
早期参加登録締切 ……………2024年3月20日

オンライン意見交換会 歯科衛生士のミライを守りミライを創る!

歯科衛生士会は組織率が低く、役員は多くの負担を抱えながら運営をしているというのが現状です。このままでは役員が疲弊し、組織が崩壊してしまうのではないかと不安もあります。日頃から歯科衛生士の職種の素晴らしさ、歯科衛生士会の組織の大切さを講演やSNSなどで発信して下さっている歯科医師のおしむら押村憲昭先生に相談したことがきっかけとなり、押村先生から、「きっと全国の歯科衛生士会の会長も同じようなことで悩んでいるのではないか」とのご意見を頂きました。全国の会長の声を聴いてみることで、これからの運営のヒントが得られるのではないかと、各県での歯科衛生士会の若手の入会が困難を極めている中で、一人で悩んでいてもしょうがない!との想いがあり、「みんなでシェアしよう!」と考えました!そこでZoomを利用して各都道府県の歯科衛生士会の会長を集めた会議を企画しました。会議には73名の方が参加され、若手の入会を促進するための取り組みについて意見交換を行いました。



オンライン意見交換会
歯科衛生士のミライを守り
ミライを創る!

この会は、歯科衛生士会のミライを創ることを目標にして
それに伴走してくださる歯科医師の先生達を探し
地域の歯科衛生士会の会長と繋ぐことを目的としています。

日時/2023年9月7日 20START時~

開催/zoomにて開催
お申込み先/QRコードから
お申込みください。

参加費無料・フリー参加

まず、会議を通じて他県の歯科衛生士会の取り組みを知ることができ、非常に勉強になりました。各県で行われている若手向けの研修や勉強会、情報発信の方法など、様々なアイデアや成功事例を聞くことができました。示された内容に自分たちの地域の歯科衛生士会でも同様の取り組みを行うことができるかもしれないと感じました。日本歯科衛生士会の吉田直美会長にもご参加いただき、今回、参加して下さった歯科医師の先生方や未入会の歯科衛生士に向けて、組織の活動について説明がありました。また歯科医師の先生方から率直なご意見や組織に期待すること、求めることの意味を頂いたことは大変参考になりました。

Zoomを利用した会議は、時間や場所の制約を受けずに意見交換ができるという利点があります。遠方の会長も

参加することが可能となり、多くの方々の意見を集めることができました。さらに、Zoomの画面共有機能を使って、他県のウェブサイトやSNSの活用方法を実際に表示させ、具体的なイメージを持ちながら意見を交換することができました。

この会議を通じて、各県の歯科衛生士会が直面している課題や成功事例を共有することができました。若手への入会を促進するためには、情報発信や研修の充実、特典やサポート制度の提供など、さまざまな取り組みが必要であることが明確になりました。今後は、会議で得られた知識やアイデアを活かし、各県の歯科衛生士会が一丸となって若手の入会を促進していきたいと思えます。歯科衛生士一人ひとりが自分の職種がこんなにも期待されている職業なんだと感じてもらうためには歯科衛生士会という組織が必要だと感じます。今後、10年先の組織の運営を考えると、今、若い歯科衛生士に組織の重要性を伝えること、みんなで歯科衛生士の魅力の発信ができる場所の環境作りが必要であると感じておりましたので、本企画が実施できたことは、歯科衛生士会が前進するための一歩になったのではないかと思います。すぐに結果の出るようなことではありませんが、できることをひとつずつ模索しながら進んでいくことと、常に変化し続けなければいけないと考えております。

伝え続けること、行動していくこと、そして繋がりつなを大切にすることで歯科衛生士会がなくてはならない存在になっていけるのではないかと思います。社会の一役を担う職種となるためにも、歯科衛生士が活躍できる社会を作っていくためにも今後も活動を続けていきたいと思えます。

今回、このような企画が実現できたのは、かすみおしむら歯科医院長の押村憲昭先生のサポートがあったからこそ実現できました。この場をお借りして心から感謝申し上げます。



(公益社団法人 鹿児島県歯科衛生士会 下川 真弓)

全国各地から 和歌山県歯科衛生士会

「子ども食堂における歯科需要に関する調査」



当会会員が学校歯科健康教育を実施後、このような話を教えてくれました。

歯みがき指導の実習時、歯ブラシを持って来ていない子供がおり、理由を尋ねたところ「母親と歯ブラシを共有しているため、自分が学校に持ってくる母の歯みがきができなくなる」と言われたそうです。

近年、「新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受け、家計が厳しくなった」「共働きやひとり親の家庭が増え、放課後、夜遅くまで、子供だけで過ごすことが多くなった」「経済格差が健康格差を生じさせている」など、メディアでよく耳にするようになりました。

そういった中、別の会員から「食事の提供や地域の繋がりを育む“子ども食堂”という活動があり、自分たちも役に立てることがあるのではないか」という意見が出されました。

そこで、子ども食堂を利用している保護者が多忙な中で、子供の口腔環境にどれほど気を配れているのか調査を行うこととしました。令和4年度、5年度と継続して日本歯科衛生士会「地域歯科衛生活動」の事業助成を受け、現在も活動実施中です。活動が終了した令和4年度の活動内容を報告させていただきます。

事業目的

和歌山県内の子ども食堂運営者が口腔環境に関心があるか、また、利用する保護者が子供の口腔環境について関心があるかを調査し、次年度活動予定の「歯科健康教育」の内容に活かすことを目的としました。

事業内容

1. 対象者：

県内子ども食堂運営者／子ども食堂を利用する保護者

2. 実施内容：

(1) 委員会の開催

どのような内容のアンケート調査を行うか、次年度の歯科健康教育実施につながる活動をするため、委員会を開催し検討した。

*1回目2022年6月23日 運営者へのアンケート調査内容を検討、事業の進め方について

*2回目2022年9月8日 運営者アンケート調査結果のまとめ、必要としている支援の確認、利用する保護者へのアンケート調査内容の検討

*3回目2023年2月23日 保護者アンケート調査結果のまとめ、次年度活動予定の歯科健康教育の内容の検討



委員会開催の様子

(2) アンケート調査

①子ども食堂運営者へ「子ども食堂における歯科保健活動の需要」アンケート調査(県内37か所)(図1)

内容：活動主体／運営に対する支援の有無／運営スタッフ数／利用者の大まかな年齢分布と数／開設日時／歯科健康教育に関する質問(歯科健康教育をしたことがあるか／

施設で希望する歯科健康活動があるか)

結果：約半数の20か所から回答を得たが、新型コロナウイルス感染症の影響により運営休止中や運営廃止の子ども食堂も多く存在した。運営者の多くは小規模ボランティアのため、令和5年度に予定している歯科衛生士が訪問する歯科健康教育に賛同を得られたのは、3か所のみであった。そして、計画していた利用する保護者への用紙形式のアンケート調査は回収が難しいとの意見があった。

また、返信がなかった子ども食堂運営者にホームページで公開しているメールにアンケートの返信をお願いしたところ、1運営者より「他団体からもたくさんアンケート調査が来て

施設で歯科健康教育に関する活動をされたことはありますか？

【あると回答したうちの具体的意見】

- 歯ブラシを配っている
 - LIONのおくちからだプロジェクトに参加
- 回答数：20施設

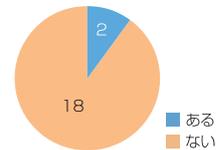
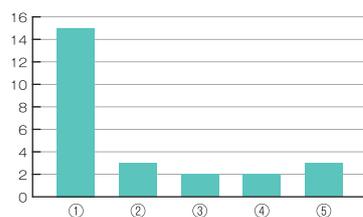


図1-1：子ども食堂運営者へのアンケート調査結果(質問)

下記項目のうち、施設で希望する口腔衛生活動はありますか？(複数回答可)



- ① 歯科健康教育リーフレットや冊子の無料配布
 - ② 視覚的歯科健康教育材料の無料配布
 - ③ 歯科衛生士が施設を訪問する歯科健康教育
 - ④ 希望しない
 - ⑤ その他
- 【その他・希望しないの記入内容】
- 歯ブラシの無料提供
 - 新型コロナウイルス感染拡大のためできない
 - 学校でしてくれている

図1-2：子ども食堂運営者へのアンケート調査結果(質問)

「健口」が「健康」への第一歩 3タイプの歯みがき剤からアプローチ

泡タイプ薬用はみがき
オラリス
【高濃度フッ素1450ppm配合】*1

むし歯・歯周病*2
口臭予防に

薬用はみがき
ヒペリオ
【高濃度フッ素1450ppm配合】*1

歯周病*2、むし歯、
歯石沈着予防に

薬用デンタルリンス
ヒペリオ ナイトケア

歯周病*2 口臭予防を
おやすみ前に

SHOWAの歯みがき剤



*1:6歳未満のお子様の手が届かない所に保管し、使用させないでください。
*2:歯周病は歯肉炎、歯周炎の総称です。

2022年4月作成
(DNTA45C-22NCP03)

発売元 **GC** 株式会社 ジーシー 昭和薬品
東京都板橋区蓮沼町76番1号
TEL: 0120-648-914 (受付時間) 9:00~17:30(土・日・祝日・弊社休日を除く)

製造販売元 **日本ゼトック株式会社**
東京都新宿区西新宿一丁目26番2号

困っている。勝手に送ってきて迷惑」とのお叱りも受け、相手側の立場を思いはかったうえで事業展開することの大切さも理解できた。

②保護者へ「歯と口に関する意識調査」アンケート調査(Googleフォーム利用)(図2)

子ども食堂で「歯みがき教室」をしたら参加したいですか？

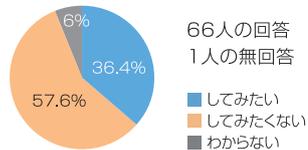


図2:保護者へのアンケート調査結果(質問7の回答) Googleフォーム利用

内容:保護者の年齢/子供の年齢/歯みがき(仕上げみがきを含む)回数/フッ化物配合歯磨剤の使用/歯ブラシの交換頻度/定期歯科受診/歯みがき教室への参加意思/歯と口に関する困りごと

子ども食堂運営者より用紙形式でのアンケート調査は難しいと意見をいただいたので、計画にはなかったが、歯ブラシ(300本)の配布を検討し、配布する歯ブラシとともに2次元コードを利用したアンケート調査のお願いを行うこととした。歯ブラシ購入に費用がかかったため、配送料を削減し、委員



アンケート調査依頼時に配布した歯ブラシ

が県内子ども食堂に歯ブラシの配達を行うことになった。結果的に、子ども食堂運営者と対面で話することができ、運営者の人柄や子ども食堂の取り組み方を知ることができてよかったと感じた。

結果:300本配布のうち、保護者67人の回答を得ることができた。

子ども食堂を利用する保護者アンケート結果から、子供のフッ化物配合歯磨剤の使用率や歯ブラシ交換頻度が高いことが分かった。定期歯科受診の割合も高く、口腔への関心が十分あることが分かった。

また、定期歯科受診率が高いことに関しては、和歌山県内の市町村において、幼児から中学生または高校生まで公費負担があるためと考察した。

自由記載の歯と口に関する困りごとの項目では、「仕上げみがきの仕方を知りたい」「子供が自分で歯みがきしないので困る」などのう蝕予防に関する質問があった一方、「歯並び・かみ合わせについて」「子供から口臭がする」「新型コロナウイルス感染症の影響により園での歯みがきが中止で困っている」との意見も寄せられた。

得られた成果

県内の子ども食堂運営者と利用者の口腔への関心度と歯科保健行動の現状を知ることができた。

特に利用する保護者は、う蝕予防のみならず、かみ合わせや口臭など、口腔環境全般において関心が高いことが分かった。

また、運営者の意見を取り入れ、携帯電話で回答できる2次元コードによるアンケートとしたことにより、今年度活動予定の「歯科健康教育」活動に活かせるアンケート結果を得ることができた。

思いがけない展開としては、子ども食堂運営者がInstagramにて本取り組みを紹介してくださり、一般の方にも広く周知できたのではないかと考える。



某子ども食堂アカウントのInstagram投稿

今後の活動に向けて

今年度は、リーフレット作成と歯科健康教育用の媒体づくりを計画している。

年度内予算や人材に限りがあるが、子供と保護者のみならず運営者にも口腔の健康に興味を持ってもらえるよう、楽しくなる歯科健康教育を今後も長く続けられるよう活動計画をしていきたいと考えている。(和歌山県歯科衛生士会 会長 山下 千穂)

MerSsage

メルサーージュ セルフケアは
歯科医院でケアした健やかなお口を
ご家庭でも維持するための歯みがき剤です。

医薬部外品
歯科医院専売 薬用歯磨

審美用
WHITENING CARE

トータルケア用
PREMIUM CARE

歯周病予防用
PERIO CARE

知覚過敏症状予防用
HYSCARE

HYSCARE GEL

むし歯予防用
CLEARGEL SERIES

世界の歯科医療に貢献する
株式会社 松風
本社 ● 〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11
お客様サポート窓口 075-778-9482 受付時間 8:30~17:00(土日祝除く)

www.shofu.co.jp

新発売
2023.8.1

ビープロケア[®]

BEE PRO CARE 2600/3000

密毛でやさしく プラークコントロール

密毛本数は通常の約3倍(当社比)の密毛仕上げ。毛先は安心のラウンド加工。太さ5ミルの柔らかいブラシ毛が歯肉をやさしく包み込み、効率的に磨けます。

ビープロケア 2600
4色: オレンジ/イエロー/ピンク/ブルー

ビープロケア 3000
4色: オレンジ/イエロー/ピンク/ブルー

参考患者価格 ¥350/本(税別)

製造販売元
ビーブランド・メディコーデンタル
大阪府東淀川区西淡路 5-20-19 TEL:(06)6370-4182

作成日: 2022.12

製品情報
弊社ホームページ
<https://bee.co.jp/>

むし歯予防には「フッ化物」が欠かせません！

1 むし歯予防の効果

- フッ化物を利用することで、次のようなむし歯予防の効果があります。
- ① 歯の質を強くする：フッ化物が歯に取り込まれることで、歯の表面が強くなります。
 - ② むし歯になりかけた歯を修復する：酸によって溶け始めた歯の表面を修復します。
 - ③ むし歯菌の働きを抑える：フッ化物の抗菌作用により、酸を作る働きを抑えます。



2 主な利用方法は3つ

フッ化物の利用方法には、①フッ化物配合歯磨剤の利用、②フッ化物歯面塗布、③フッ化物洗口の3つがあります。歯が生えてくる乳児から高齢者まで、生涯にわたってフッ化物を積極的に利用することで、効果的にむし歯を予防することができます。年齢やそれぞれの場面に応じて適切にフッ化物を利用しましょう。

	フッ化物配合歯磨剤	フッ化物歯面塗布	フッ化物洗口
開始時期	歯が生えてきたら	前歯が生えそろう 1歳頃から	ブクブクうがいができる ようになったら
実施場所	家庭 	歯科医院 保健所や 保健センター 	保育所、幼稚園 小中学校 家庭



※フッ化物の詳しい情報はこちらをご覧ください。 e-ヘルスネット(厚生労働省)

エラック ハミガキ
医薬部外品 容量：90g

エラック ハブラシ 620
S・ES

らくらく、やさしく、清潔に。
介護では、口腔ケアも大切だから。

介護するひと、
されるひとの笑顔を
口腔健康でつなく

エラック ハミガキ(販売名：エラックハミガキa)メーカー希望小売価格/個：638円(税込) エラック 620 S(ソフト)・ES(エクストラソフト)メーカー希望小売価格/個：275円(税込) ●フッ化物 高濃度配合品(1450ppmF)の6才未満への使用は控え、子供の手の届かない所に保管してください。

ライオン歯科材株式会社
〒111-8644 東京都台東区蔵前 1-3-28 TEL.03(6739)9012
ライオン歯科材Q
<https://www.lion-dent.co.jp/>

すこやかな毎日、
ゆたかな人生

ガムトレーニングにも！

POs-Ca F ポスカ・エフ

水溶性カルシウム(POs-Ca) + 緑茶エキス 配合ガム

● 栄養食品の標準価格は、2023年6月31日現在のものです。標準価格には消費税は含まれておりません。
● 仕様および外観は、製品改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。
● ご使用に際しましては、製品説明を必ずお読みください。

かむたびに、カルシウムイオンと
フッ化物イオンがお口に広がる！

【種別】	ペパーミント / マスカット / ストロベリー
【包装】	パウチタイプ100g
【標準価格】	各720円(税別) 【患者参考価格】 各850円(税別)

製造 江崎グリコ株式会社 大阪市西淀川区敷島4-4-6 〒555-8502 お客様相談センター T 0120.917 111(月～金9:00～18:30)
発売 株式会社 モリタ 大阪府吹田市豊水町3-33-18 〒564-8650 T 06.6380 2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03.3834 6161
お問合せ お客様相談センター <歯科医療従事者様専用> T 0800.222 8020(Tフリーコール)
www.dental-plaza.com

3 専門学会が推奨！毎日の歯みがきにフッ化物配合歯磨剤を

令和5年1月に、むし歯予防及び治療を専門とする4学会から合同で、推奨されるフッ化物配合歯磨剤の利用方法が示されました。子どものむし歯予防だけでなく、高齢者の歯の根のむし歯予防のためにも、フッ化物配合歯磨剤の積極的な利用が勧められています。

**う蝕予防のためのフッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法
(2023年版)**
日本口腔衛生学会・日本小児歯科学会・日本歯科保存学会・日本老年歯科医学会

年齢	使用量(※1)	フッ化物濃度(※2)	使用方法
歯が生えてから2歳	米粒程度 (1~2mm程度) 	900~1000 ppmF	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物配合歯磨剤を利用した歯みがきを、就寝前を含め1日2回行う。 900~1000 ppmF の歯磨剤をごく少量使用する。歯みがきの後にティッシュなどで歯磨剤を軽く拭き取ってもよい。 歯磨剤は子どもの手が届かない所に保管する。 歯みがきについて歯科医師等の指導を受ける。
3~5歳	グリーンピース程度 (5mm程度) 	900~1000 ppmF	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物配合歯磨剤を利用した歯みがきを、就寝前を含め1日2回行う。 歯みがきの後は、歯磨剤を軽くはき出す。うがいをする場合は少量の水で1回のみとする。 こどもが歯ブラシに適切な量の歯磨剤をつけられない場合は、保護者が歯磨剤をつける。
6歳~成人 (高齢者を含む)	歯ブラシ全体 (1.5cm~2cm程度) 	1400~1500 ppmF	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物配合歯磨剤を利用した歯みがきを、就寝前を含め1日2回行う。 歯みがきの後は、歯磨剤を軽くはき出す。うがいをする場合は少量の水で1回のみとする。 チタン製歯科材料(インプラントなど)が使用されていても、自分の歯がある場合はフッ化物配合歯磨剤を使用する。

- 乳歯が生え始めたら、ガーゼやコットンを使ってお口のケアの練習を始める。歯ブラシに慣れてきたら、歯ブラシを用いた保護者による歯みがきを開始する。
- 子どもが誤って歯磨剤のチューブごと食べるなど大量に飲み込まないように注意する。
- 要介護者で嚥下障害を認める場合、ブラッシング時に唾液や歯磨剤を誤嚥する可能性もあるので、ガーゼ等による吸水や吸引器を併用するのもよい。また、歯磨剤のために食渣等の視認性が低下するような場合は、除去してからブラッシングを行う。またブラッシングの回数も状況に応じて考慮する。
- 水道水フッ化物濃度の低下などのフッ化物全身応用が利用できない日本では、歯磨剤に加えフッ化物洗口やフッ化物歯面塗布の組合せも重要である。
- どの年齢でも、歯みがきについて歯科医師等の指導を受けるのが望ましい。

※1：写真の歯ブラシの植毛部の長さは約2cmである。
 ※2：歯科医師の指示によりう蝕のリスクが高いこどもに対して、1,000ppmFを超える高濃度のフッ化物配合歯磨剤を使用することもある。

出典：通知文「う蝕予防のためのフッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法【普及版】について」2023年4月13日
(公益社団法人 日本歯科衛生士会 地域歯科保健委員会)

SUNSTAR
BUTLER

口腔粘膜、気になる傷口のケアに
傷口をカバーして保護するお口の液体絆創膏

バトラー マウスベール お口の液体絆創膏

Mouth Veil Oral Liquid Bandage 液体包帯 一般医療機器

[分類]一般医療機器 [一般的名称]液体包帯 [販売名]バトラー マウスベール お口の液体絆創膏
 [届出番号]27B1X00134000003 [内容量]90mL
 ※本品は一般医療機器「液体包帯」であり、保険請求はできません。

使用方法、使用上の注意などについては添付文書をご参照ください。

商品についてのご質問・ご不明な点は下記へお問い合わせください。

サンスター株式会社

〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号
 TEL:072-682-4733
 FAX:072-684-5669



※内容物のイメージ画像

®登録商標。BUTLERは登録商標です。2021年11月作成

咽喉喀痰吸引ができる歯科衛生士になろう

はじめて学ぶ 歯科衛生士のための 咽喉喀痰吸引マニュアル

呼吸器のリスク管理と実践

谷口裕重・渡邊理沙 編著

柴田享子・長縄弥生・三鬼達人・村松恵多 執筆

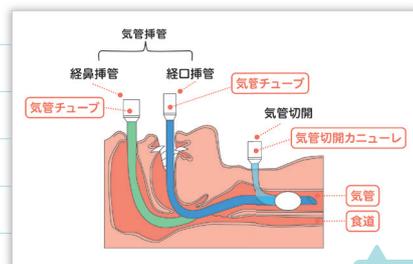
- B5判 / 128頁 / カラー
- 定価 5,500円(本体 5,000円+税10%)
- ISBN978-4-263-42309-7
- 注文コード: 423090



- 歯科訪問診療の現場で、歯科医療従事者との対応として実施に迷うといわれているのが、咽喉喀痰吸引です。
- 本書は咽喉喀痰吸引の基本的な手技のほか、呼吸器にかんするリスク管理の方法についても解説。歯科のために書かれた、はじめてのマニュアルです。
- 本書で適切なリスク管理と実施のための法的解釈を理解したうえで咽喉喀痰吸引について学び、訪問診療の場で歯科としての専門性を発揮していきましょう！

本書に書いてあること

- なぜ歯科衛生士がリスク管理を学ぶのか
- 呼吸器に関連する解剖・生理学
- リスク管理に必要な全身状態のアセスメント方法
- 胸部聴診, 頸部聴診の方法と聴診音の聞き分け方
- 呼吸療法に使用される医療デバイスの基礎知識
- 肺理学療法
- 喀痰吸引の実際



人工気道の種類



徒手の排痰手技
(スクイーミング)



カテーテルは
舌にはわせて挿入する

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10
TEL03-5395-7630 FAX03-5395-7633 <https://www.ishiyaku.co.jp/>